

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「レジ袋有料化の意義」

◇ 《設問1》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇

ごみ問題に関する重要なキーワードが3R（リデュース・リユース・リサイクル）である。現代社会には大量生産・大量消費・大量廃棄という仕組みが成立しているが、3Rの徹底などを通じて新たな天然資源の使用を抑え、持続可能な発展が可能な循環型社会に変えていくことが重要である。レジ袋の有料化は、プラスチックごみの削減に加えて、そのような社会変革のために人々の意識を変えることを目指した政策である。（192字）

※キーワード

3R（リデュース・リユース・リサイクル）、大量生産・大量消費・大量廃棄、持続可能な発展、循環型社会、生活様式の変革（≡社会変革、人々の意識改革）

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

あなたの身の回りで大量廃棄されていると考えるものを具体的に思い浮かべ、模擬講義の内容も意識しながら、そのごみの排出量を削減する方法を600字以内で提案しなさい。なお、必要に応じて段落分けをおこなうこと。

〔評価の視点〕

- ・大量廃棄されている具体的な物品に言及していない場合には得点率40%を基準とします。
- ・既存の回収制度（古紙、古布、空き缶、空き瓶、ペットボトルなど）の活用に残る提案の場合には、得点率40%を基準とします。
- ・提案されている排出量削減の方法が「無料で配布されている物品の有料化」の場合には、得点率60%を基準とします。
- ・既に個別リサイクル法が制定されている物品〔自動車、家電（テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコン）、小型家電、容器包装、建設資材、食品〕であっても、提案されている排出量削減の方法が妥当であれば、プラス評価とします。